

Surprising
Ceramics.

日本ガイシ
NGK

いいミライを、つづろう。

セラミックスでミライの課題に応える日本ガイシ。
SF作家たちがつづる世界を、おどろきのセラミック技術で読み解けば、
なんだかありそうなミライが見えてくるかもしれません。

至聖所

作・十三不塔
画・YOUCHAN

（あらすじ）

人間の記憶をデジタルデータに変換して持ち運べるようになった時代。画家の夢を諦めた角南は、記憶から作るデジタルデータの〈修復家〉をしている。異相きあるというスターの記憶を修復することになった角南は、きあろの記憶を修復していく過程で、ある事実を知る。角南がまだ画家だった頃に描いた絵が、音楽の道を諦めかけていたきあろを救ったのだった。きあろが角南に絵を続けて欲しいがっていたことを知った角南はまた筆を執る。



もしも記憶がデータに残せるなら？

記憶——それが角南たちの食い扶持だった。人間の記憶をデジタル映像に変換する手段はいくつもある。磁気共鳴画像法からそれを得る方法は期待ほど成果が見込めず、ここ一〇年で脳波測定と体性感覚誘発電位から得たデータ信号を深層ニューラルネットワークへ翻訳する手段が広く一般化したのだった。

「修復家としての先輩は尊敬してますけどね、まさか異相きあろを知らないなんて」

真淵は薄いビールを角南のグラスに注ぐ。装飾写本画家だった彼女を工房に雇い入れたのは二年前。角南もまた中世のフレスコ画を専門とする化石のような研究者兼画家だったが、遠い昔に挫折して記憶修復家となった。

日本SF作家クラブ編『2084年のSF』（早川書房収録）

小説設定確認：日本SF作家クラブ

©Zyusanfuto ©YOUCHAN



©NGK-kero/dwarf

CEATEC
2023.10.17・10.20
出展中



ミライをつくるセラミックス ②

窒化ガリウム(GaN)ウエハー「FGAN®」(エフガン)

脳波などから安定的にデータを取得してデジタル映像に変換するには、たくさんの電力を必要とする「パワーデバイス」が欠かせないはず。そんな次世代パワーデバイスを実現する切り札となるのが「FGAN」。あらゆる電子機器の高度化に貢献するこのウエハーなら、未来の記憶装置の実現に一役買うかも！

ミライをつくるセラミックス ①

超薄型リチウムイオン二次電池「EnerCera®」(エナセラ)

膨大な記憶をデータ化して携帯するには、存在を感じさせないくらい小さくて、パワーのある電源が必要になるはず。わずか0.45mmの超薄型で切身サイズ、大容量で高出力の「EnerCera」なら、ひょっとすると記憶を持ち運べる未来のウェアラブルデバイスの実現に役立つかも！

